

東風

こち

発行・編集
コミセンだより
広報委員会
責任者
堀井 昭克

「自主防災・今後の課題」

多家良町協議会自主防災会

会長 鴨川 昭

最近の新聞等で報道されている南海地震は、今後三十年位の間に40%以上の確率で前回の40%以上の大地震が予想されると言うことである。

十年前の阪神淡路大震災時には死者を多数出さしたという大惨事になった。その時、助かった人の70%は自力で脱出し、20%は家族・近隣の人に助けられ、消防署等の公的機関によって助けられたのはわずか10%であった。

という事から、近隣の人達の助け合いにより、被害を最小限度にする為に自主防災組織を作っているのかと関係機関の方からご指導があり、結成に向け検討を重ね、協議会理事と実行組長の合同会議で(別表)「防災活動組織編成表」の通り結成することを決定し、昨年九月十一日に「多家良町自主防災会」の設立総会を組長以上の52名で開催した。

その事を待っていたかの様に、昨年は異常気象で、閏年の申年は荒れると言われがあるが、次々と台風が日本に上陸し、日本列島に大きな被害を与え、多家良町にも様々な災害をもたらした。特に10月19日、20日にかけての台風23号による大雨では過去に例を見ない時間雨量となり、水による大きな被害を受けた。

20日昼過ぎには野上の浦毛ノ脇で大量の土砂を含んだ谷水が流れ出し、合計8戸15人がコミセンに自主避難するという事態になった。

又、北地への宮野橋は八多川の増水により橋の上には川水が打上げる状態となり、農協で通行不能となり、農協操果場前の道路が40cm、50cm浸水し、小路地の民家等で床上浸水1戸、床下浸水5戸となった。

池谷では、山からの谷水が流れ出し、8戸が床下浸水した。

野上でも、野上橋も八多川間の県道が50cm程度浸水し、床下浸水が2戸となり、多家良町全体で、床上浸水1戸、床下浸水15戸と近年にない大きな被害を受けた。

今回の台風21号、23号は大きな被害をもたらしたが人身に及ぼす被害がなかったことはとても幸いであった。

近いうちに起こるかも知れない南海地震に備えて結成した自主防災組織であるが、近年にない風水害に遭いその反省点に立ち、今後の対策として次の点について検討、確認しておかなければならない。

一・大きな災害が発生した場合、自主防災会の本部役員は可能な限り集まり、各班と連絡を取り出来る限り被害状況を把握し、対策を講ずること。

二・地震、風水害等、災害別に避難場所を地域別に確認し、班、組別に周知しておかなければならない。

三・現在は電話網の整備と、携帯電話の普及により、連絡網は整備されている様に思われるが、大災害の起こった時は電話が通じなくなることも想定し、対策を考えておかなければならないのではないかと思えます。

皆様もご検討下さい。

写真提供 (福本 正幸さん)



ラムさん玄関前



西側から農協向



車庫 土嚢が浸水

八多町協議会自主防災会

会長 松崎 茂

阪神大震災から10年が経ち、それを機に最近では新聞、テレビなどでも地震や津波災害が数多く取り上げられています。

こういった災害に対し無防備でいては悲惨な結果を招くことは昨年末に起こったインドネシア・スマトラ沖大地震の惨劇を見ても明らかであります。

八多町におきましても30年以内に起こると予想されている南海地震に備えて昨年、自主防災組織が作られました。

これは地域近隣の人達の助け合いにより被害を最小限に食い止めることを目的としています。

しかしながら多家良地域におきましては過去50年周期で起こってきた南海地震に対しても特に被災したという記録は残ってはいません。

築1000年と伝えられる丈六寺が健在であることから見ても地震、津波とも影響は少なかつたと見るべきです。むしろ多家良地域において想定される自然災害は台風による大雨、強風でありましょう。

昨年の台風21、23号による被害は八多町においても記録的なものとなりました。集中豪雨による増水で床上、床下浸水が相継ぎ道路は寸断され田畑にも大

量の土砂が流れ込み今も復旧していないところが大半です。特に大久保地区では山崩れと激しい土砂により住宅が半壊しました。

また激しい風雨によりビニールハウスも多くが被害を受けました。

人身被害が無かったことは喜ばせても教訓でありましたが環境の異変は地球規模で進行していますので台風23号のような超大型台風が頻りに上陸することも考えられます。

今回の被災を教訓として今後検討しておかなければならない問題としては、災害時の避難場所として指定されている八多公民館が、場所柄、全く適していないこととあります。

先の台風においても馬場地区は道路が冠水し、同様に川原地区、南曾根地区も道路は冠水し公民館にたどり着くことは困難でありました。また増水時に通行可能な道路を把握しておくことも大切です。

そして自主防災組織が今回のような災害時にどのように活動するかということも確認し直しておくべき問題です。

以上を今後の検討課題として取り組んでいきたいと思えます。

町民の皆様のお助け、ご協力を願います。

「第十四回徳島市コミュニティまつり」ご支援に感謝

多家良中央コミュニティ協議会
会長 堀井 昭克

十月十七日秋晴れのもと第十四回徳島市コミュニティまつりが当センターで開催されました。七月二日の第一回目の事務局との打ち合わせ以降、地元役員とも準備に入り、数回の打ち合わせをいたしました。

皆様をお迎えするにあたり、道路や駐車場の案内をはじめ、受付・進行・演芸・地場産市・抽選会等々かなり工夫をしました。まだまだ十分でなかったと反省をいたしております。

しかし好天に恵まれ、参加者の方々に田舎の豊かな自然と人情に触れていただき、我々の至らぬを、ご辛抱下さったお陰で無事開催できたと感謝いたしております。

式典には小池参議院議員（前徳島市長）もお見えになり華を添えて頂きました。

会場も二百五十席満員の盛況で演芸も各コミュニティから二十八のご出演があり、丈六の「せせらぎ太鼓」に始まり歌や踊り等、日頃の練習の成果を発揮されました。そして最後は地元「まじ連」の阿波踊りでめでたく締め上げていただきました。

一方、外では健康ウォ

ークで金谷の「金山神社」と古代ロマン漂う「立岩神社」の史跡散策に八十名が参加され、元気に「楽しかった」と帰ってこられました。

地場産市もスタヂ・ミカン・花・しいたけ・米・はちみつをはじめ、うどん・コーナードも大好評で4百食がほぼ完売の盛況でした。竹・かずら・おら細工も子供ばかりか大人も昔なつかしく人だかりするほどでした。

最後は会場内外全員集合で大抽選会が始まりました。十八等の軍手から一等のテレビまで、防災グッズ・家電・新米こしひかり一俵等々笑いと興奮のなかで大いに盛り上がりました。

空クジ無しと発表していただきましたので、抽選会終了後抽選はずれの方々に参加賞の引き換えをしたところ、途中で商品が足りなくなり、反省会用のジュースや缶ビールを急きよ提供してやっとその場を収めました。

原因は準備した四百名分の景品に対し何と五百名を越す方々が参加して頂いたからでした。うれし事でしたが、慌てさせられました。何はともあれ会場の、



遊びにおいで

多家良中央児童館
館長 福本 輝美

(お誕生日会の風景)



早一年四ヶ月が過ぎ、地域の子供たちを始め地域外からもたくさん遊びに来ています。オーブンより一年間で、延べ一万人の親子が利用してくれました。

児童館では、市内でめずらしい直接客館（申し込みの子供が学校帰りに来館すること）を受け入れ、安心して仕事が出来る保護者も増えたようです。

午前中は、乳幼児の親子の交流の場となり、新しい友達もでき輪も広がってきています。又、中高生の息抜きの場ともなり児童との交流も楽しそうです。

運営委員さんを始めコミセンの方々、民生委員さん地域の方々のご協力のおかげで、たくさんの方々の無事終える事が出来、参加した子供たち、保護者の方々にもとても喜んでもらえました。今年も今以上に楽しい行事を行っていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

徳塾訪問

徳塾の水田先生にお話を伺いました。

徳塾では、現在小学校が英語中心で（五年生から始めると中学校入学までに中一の教科書が終わっているそうです）中一、二年生は教科書中心の復習、三年生は高校入試に向けての勉強をしています。

【徳塾の特徴】

- ・理解度をチェックして、一人一人にあった教材を手作りで用意する。
- ・塾内で番数を発表して競争意欲をもたせる。
- ・復習を第一の勉強とする。

「水田先生のこゝろ」

①習ったことは忘れさせない、差がつくのは忘れるから。
②出来る子より苦しんでいる子の方が教える楽しみがあつていい。
先生に会ってみたくなつた方、いらつしやるのでは！先生は月曜日と土曜日の夕方コミセンにおられるのでお話を伺つてみては如何でしょうか。例えば最近新聞紙面でもよく目にするようになつた「学力低下に對する方策」について等、きつと参考になると思ひますよ。

(写真 水田先生)
取材(有月)



サークル紹介

お袷袋を縫う会

中津峰山如意輪寺住職 山田 成素

お袷袋を縫う会は、坊さんがつけるお袷袋、それを縫う会である。そもそも袷袋の始まりは遠くお釈迦様のご在世時代まで遡る。物事の執着を捨てること、これが佛教徒の第一歩、自分を飾りたい、いい服を着たい、エエ格好をした

い等々を捨てるのである。究極はみんなが捨てた衣類を拾って寒暖のみを度ぐ衣服にした。糞のようになった衣類を洗って作る衣、それを糞掃衣（ふんぞうえ）という。

糞掃衣といっても日本の糞掃衣はタンスのゴミになりつつある立派な着物類が孫の代には捨てられる、いやもう捨てたとの御仁があるかも知れない。それらの立派な衣類を生かして作ろうというものだからお釈迦様の時代とでは捨てる時間がやや違う。

作るにはルールがある。まず、芯に使うのは紅絹という真っ赤な裏地、お年の方はご存じだろう。この布は魔除けになるといふ。だから古い時代の喪服の裏地はこれが使われた。それを切って表地になる切れをしつける。表地に山と雲の模様にした別布をアツブリ

ケのように丁寧に縫いつける。それが出来たらぐし縫い（刺し子）をする。ルールに則て合わせて田の

様にする。そこに間目の布を縫いつけ、側と一緒に裏地をつけ完成となる。

言うのは簡単だが完成までは大変だ。一人で縫い上げる人、グループで仕上げる人と色々だが、一針一針が佛道修行、完成した糞掃衣は中津峰山如意輪寺の土砂加持の時、僧侶が着用して一座の法会を勤める。また、願縁りに常々使わせて頂く。糞掃衣には把針者のお名前を明記し、永遠の命が生じる。

昨年、江戸時代、今釈迦と称せられた慈雲尊者の二百回忌を記念にはじめた。中津峰山には尊者が免願した千衣の一枚がある。二百年経っている。一番古いお袷袋は一七〇三年の年号である。

この会に参加されたい方は老若男女問いません。中津峰山如意輪寺まで連絡されたい。着物の有無は問わないが、針は嫌いだという方はタンスのゴミの提供も結構。ただ針が好きな方が良いでしょう。

お袷袋を縫う会 作業風景



宝寿会をたずねて

早朝、寒風が皮膚を刺す厳しい環境にもかかわらず、数人の会員の皆さんが新春の花パンジーやジュリアンの植え替え作業をされていました。

現在、宝寿会の会員数は五十六名。年間行事として交通安全教室、各種講演会、社会奉仕作業、八栗山参拝、それに新年会・忘年会などを行っています。

以前は、愛好家の集いもあり、カラオケ、ゲートボール、グラウンドゴルフも盛んで、会の活動にも勢いがあつたとの事です。

今は、会員の高齢化が進む状況に加え、デイケアサービスを利用される方とか家族との触れ合いを楽しまる方が増えるなどの諸事情から、新会員の加入が少なくなり活動に支障が出てきているのが現状です。

会長の安広さんは「お元氣な高齢者の皆様、地域の振興のためにも、一歩外に出てみませんか！」と呼びかけています。

皆さん、同胞の集まりである宝寿会に加入して、色々な会合や、親睦旅行、趣味の場で仲良く楽しい話の時間を過ごしてみませんか。きつと新しい世界が開け元氣がわいてきますよ。

取材(編井)

阿波おどり



阿波踊り「まんじ連」は多家良コミセンで男女併せて27人くらいが毎週2回練習をしています。阿波踊りと言えは盆3ヶ日と相場が決まっているのに、何故一年中練習をしているのだろうかと思

い、会長の村上晃世さんに聞いてみました。「何故、一年中阿波踊りの練習をしているのですか」このぶしつけな質問にも大上さんは怒らず答えてくれましたが、私はこの質問が礼を逸していた事を後で知りました。きつと、大上さんは「阿波踊りは遊びじゃない」と言いたかつたに違ひ有りません。

私は知りませんでした。阿波踊りはお盆の期間だけ踊っている訳ではなく、花春フェスタ他、各種イベントに出演している他にも40日に一回、阿波踊り会館でも踊っているそうです。

つまり一年中出番があるのです。こう言ったイベントの場で踊るのに際し、日ごろ練習をしているか否かは明確に踊りに現れてくるそうです。最初は型通りの踊りを練習しますが、熟練の域に達すればおのずと踊りに個性が出てきてはた目にも楽しそうな踊りになってくるそうです。

一年を通じて連の運営を続けて行くのは大変で、その原動力となるのは一にも二にも「踊りが好きだ」と言う気持ちが大切だそうです。現在「まんじ連」では、一緒に踊ってくれる仲間を募集しています。小学校の高学年以上の方ならどなたでも結構です。

阿波踊りは束縛される時間が長いですが、そこで過ごした時間は将来必ず人生を豊かにしてくれるはず。

取材(立川)

多家良中央コミセン利用状況(2004.4月~2004.12月)

月	別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
まんじ連		8	240	8	240	7	210	9	225	2	60	7	210	8	240	9	270	6	180	64	1875
三空会		8	210	8	210	9	225	9	225	8	210	6	160	8	210	8	210	7	175	71	1835
日本拳法		4	80	4	80	9	180	9	180	5	100	7	140	8	160	7	140	8	160	61	1220
カラオケ		2	15	2	15	2	15	2	15	2	15	2	15	2	15	2	15	2	15	18	135
踊り練習		8	40	8	40	8	40	9	45	4	20	7	35	8	40	8	40	8	50	68	350
社会福祉協議会		1	20	1	20			1	20											3	60
パソコン教室						6	70									6	90			12	160
多家良町協議会				1	30			1	30											2	60
徳塾		8	80	9	90	7	70	8	80	7	70	7	70	7	70	9	90	8	80	70	700
書道教室		4	60	4	60	4	60	4	60	3	45	5	75	4	60	4	60	4	60	36	540
児童館行事		1	80			1	70	1	30	1	80	2	160	1	50			2	100	9	570
多家良保育所				1	40	2	60											5	300	8	400
自主防災会										1	30									1	30
公民館		2	30	2	40	1	30	2	40	2	120	1	30			2	70			12	360
正琴		2	20	2	20	2	20	2	20	2	20	2	20	2	20	2	20	2	20	18	180
広報部会																		1	6	1	6
乳幼児相談会				1	30	1	30			1	30			1	30	1	30	1	30	6	180
お装束を縫う会		1	30																	1	30
児童館子供料理教室						1	30						1	20						2	50
民児協		1	30	1	30	1	30	2	60	2	40	1	30					1	30	9	250
敬老会				1	150															1	150
徳島市の行事会議						3	80	3	90	1	60	1	15	1	500					9	745
検診		1	50							1	100									2	150
むつみ会						1	70							1	70	1	70			3	210
宮井ホークス												1	50					1	60	2	110
コミュニティー協議会		4	70	1	100			2	40	1	30	1	30	1	30					10	300
宮井小PTA													1	100	1	60				2	160
森林組合				1	25													1	25	2	50
モラロジー				1	100	1	100	2	200											4	400
族会		1	20	1	20									1	20					3	60
防火防災										1	30	2	100			1	30			4	160
宝寿会		1	40															1	40	2	80
選挙		1	500																	1	500
その他		6	615	2	160	2	400	1	20	1	30	2	180	1	200			1	60	16	1665
合	計	64	2230	59	1500	68	1790	67	1380	45	1090	54	1320	56	1835	61	1195	59	1391	533	13,731

平成16年度 多家良
中央公民館主な行事四月十二日 宝寿会総会
四月十七日 運営委員会
(多家良町敬老会準備)五月一日 敬老会打合せ会
五月九日 敬老会
五月二十九日 運営委員会六月一、四、五、九、十三、二十
五日 インターネット研修会
六月二十七日 ふれあい人権研修
(多家良町)七月四日 すくらむ人権研修
七月十七日 すくらむ防火防災研修
七月二十二日 カラオケ交流会
(飯谷町と)八月二日 学遊塾(宮井小学校で)
八月七日 敬老会打合せ(八多町)
八月二十二日 ふれあい三世代
交流料理教室九月十九日 敬老会前日準備
(八多町)九月二十日 敬老会 (八多町)
十月一日 ふれあい交通安全研修
(八多町)十一月九、十、十二、十六、十七、
十九日 インターネット研修会
十一月十三日 徳島市人権教育啓発
件研究集会(一宮)十二月十二日 宝寿会研修会
(昭和戦争史について)一月八日 宝寿会研修会(多家良町)
一月二十九日 すくらむ料理教室
二月予定 ふれあい陶芸教室
(八多町)